

洛西
西京



としょかんだより for teens

第36号



今回は、「**掘り起こせ**」をテーマに、いろいろなジャンルの本を紹介します。

この季節に「掘る」といえば、さつまいも！ え？違うって？
知らないことを掘り起こすって楽しいですよ。
みなさんも、未知の世界を掘り起こしてみてくださいね！

『きょうりゅうレディ さいしょの女性古生物学者メアリー・アニング』
リンダ・スキアース／作 マルタ・アルバレス・ミゲンス／絵
まえざわ あきえ／訳 出版ワークス

歴史に埋もれていた女性古生物学者が発掘されるまで。

子どもの頃からライムリージスの海岸で、観光客に売るための化石や貝を拾って、生計をたてていたメアリー。

ある日、兄と2人で見たこともないような大きな頭の骨を掘り出します。
メアリーの強い探究心は、その後何日もかけて、さらにその化石の体の骨を探し出します。

お金持ちが買い取っていったその化石は後に、はるか昔の生物であることがわかり、世界中を驚かせることになるのです。

『見るだけで楽しめる！ 平城京のごみ図鑑』

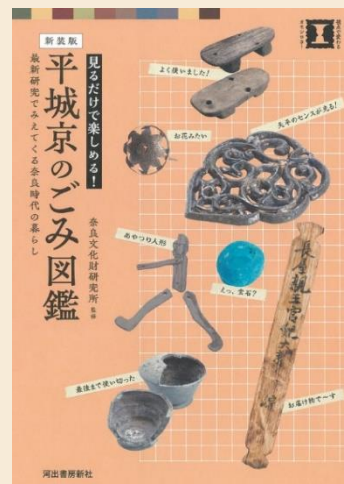
最新研究でみえてくる奈良時代の暮らし 新装版』

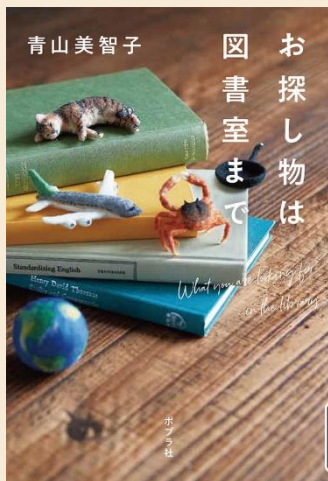
奈良文化財研究所／監修 河出書房新社

掘り起される、人々の暮らし。

これが「ごみ」だって？魚の骨や果物の種子は「ごみ」っぽいけど、
土器や金具、人形、仕事のメモなど、平城京跡から掘り起されたものには、
驚きがいっぱい！

はっくつ
発掘の様子や出土品の研究についても知る事ができる一冊です。





『お探し物は図書室まで』

あおやま みちこ
青山 美智子 / 著 ポプラ社

ししょ
司書は掘り出し物を見つける達人です。

はとり
羽鳥コミュニティハウスにある図書室の小町さんは無愛想ですが、聞き上手な司書。

様々な悩みを抱えた登場人物たちが、司書小町さんの紹介する本から大切なことを感じとり、行動することで自分を変えていく5つの短編集です。

『絵で旅する国境』

クドル / 文 ヘラン / 絵 なかやま よしゆき / 訳 文研出版

興味を掘り起こそう。

日本で暮らしていると、国境を意識することはあまりないかもしれません。しかし、世界には、様々なところに国境があります。簡単にまたげる国境もあれば、行き来の難しい国境もあります。

そんな各地の国境を絵で見て楽しみながら、地球に暮らす私たちのことを考えてみませんか。



『パンに書かれた言葉』

くつき しょう
朽木 祥 / 作 小学館

少女が掘り起こしたのは、自分の名前の意味だった。

イタリアの祖母の家で見た、文字の書かれたパン。それをきっかけに主人公は、イタリアと日本それぞれで、戦争を生き延びた子どもたちのことを学んでいきます。戦争中、彼らは何を考えていたのか。そして、生き残った人たちが抱えてきたものとは。

現代を生きる少女は、過去から受け取り、受け継いでいくのです。

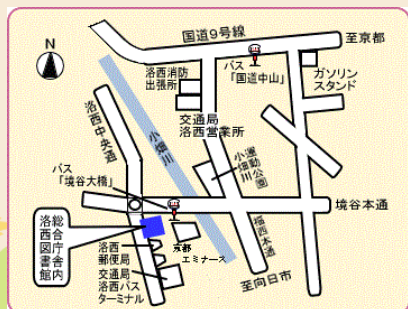


京都市洛西図書館

〒610-1143

京都市西京区大原野東境谷町2丁目1-2 洛西総合庁舎1階
電話(075)333-0577 FAX(075)333-0887

■開館時間 平日 : 午前9時30分～午後7時
土曜・日曜・祝日: 午前9時30分～午後5時
■休館日 毎週火曜日(火曜日が祝日の時はその翌平日)
年末・年始



京都市西京図書館

〒615-8236

京都市西京区山田大吉見町20-3
電話(075)392-5558 FAX(075)381-8901

■開館時間 平日 : 午前9時30分～午後7時
土曜・日曜・祝日: 午前9時30分～午後5時
■休館日 毎週火曜日(火曜日が祝日の時はその翌平日)
年末・年始

